

曜日時限 火曜15:00~16:30

受講料 21,000円

定員 20名

単位 2単位

概要 古代ギリシアのプラトンからルネサンス期のマキアヴェッリまでの政治思想の流れを見ていきます。従来の西洋政治思想史は圧倒的にマキアヴェッリから始まる近代政治思想史でした。しかし<近代以後>といわれる現在、近代の母胎である中世やそれ以前の古代の政治思想を学ぶことは大変重要です。

講師 柴田 平三郎

獨協大学名誉教授 専門/政治学、西洋政治思想史

慶應義塾大学大学院博士課程修了。法学博士。主要著作に『アウグスティヌスの政治思想』（未来社）、『中世の春：ソールズベリのジョンの思想世界』（慶應義塾大学出版会）、『トマス・アキナスの政治思想』（岩波書店）など

テキスト 君主の統治について（トマス・アキナス著／岩波文庫）720円＋税

内容 5月15日～11月27日（全10回）

- ① 5月15日 はじめに 政治思想史の課題と方法
- ② 5月29日 古代ギリシアの政治・思想空間
- ③ 6月12日 プラトンの政治思想
- ④ 6月26日 アリストテレスの政治思想
- ⑤ 7月10日 ローマの政治思想 キケロとセネカ
- ⑥ 10月2日 キリスト教成立の意味
- ⑦ 10月16日 アウグスティヌスの政治思想
- ⑧ 10月30日 ソールズベリのジョンの政治思想
- ⑨ 11月13日 トマス・アキナスの政治思想
- ⑩ 11月27日 マキアヴェッリの政治思想